

デーリー東北

2024年(令和6年)3月24日(日曜日) (13)



えんぶり鑑賞と食の組み合わせ 八工大生提案の 企画案に市長賞

元気な八戸づくり若者シンポ

八戸

2月に八戸市内で開催された「元気な八戸づくり若者シンポジウム」で、八戸工業大感性デザイン学科の3年生3人が提案した、冬の味覚とえんぶりを組み合わせたイベント案が市長賞に選ばれた。3人は「八戸を盛り上げるアイデアが認められてうれしい」と笑顔を

見せた。

受賞したのは、河村紫乃さん(21)、高村彩花さん(21)、吉田百斗実さん(21)。同シンポジウムでは、若者が地域づくりについて多彩な研究・調査結果を発表。3人は「冬の八戸を元気に 美味しいあったかイベント」と

題し、中心街でえんぶり鑑賞とともに、せんべい汁やブイヤベースを提供するイベントを提案した。

15日、市庁で授与式を開いた。熊谷雄一市長は市長賞を手渡し、「冬の観光が少ない中で、えんぶりと食を結び付けるイベントには新規性があった」と評価した。

(藤村大地)

熊谷雄一市長(左から2人目)から市長賞を受けた吉田百斗実さん(左)、河村紫乃さん(左から3人目)、高村彩花さん(右)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。